

2008

広報

おばま 12

《表紙》

「若狭がれい」の天日干しがシーズンを迎えています。内蔵やうろこを取り除き、ひと塩したカレイを竹ぐしに刺して縄につるしていきます。天日干しにすると、乾燥機を使うよりも透明感が出て美しくなるそうです。

(11月14日)

【特集】

平成20年度

市長表彰・文化奨励賞

平成20年度

市長表彰・文化奨励賞



平成二十年度の小浜市長表彰、文化奨励賞の受賞者が決まり、十一月三日、文化会館で表彰式が行われました。

市長表彰は十一個人、奨励賞は一団、文化奨励賞は五個人・二団体の皆さんです。

市長表彰は、市や関係団体から推薦された候補者・候補団体を各種団長で構成する小浜市長表彰選考委員会で審議、選定されます。

文化奨励賞は、市や関係団体から推薦された候補者・候補団体を教育文化に関する各種団長で構成する小浜市文化奨励選考委員会で審議され、市教育委員会で決定します。

■問い合わせ 総務課 ☎内線 353
教育総務課 ☎内線 422

【市長表彰】

政治、経済、教育文化などで市政振興に寄与され、市民の模範となって活躍された個人や団体を表彰します

【奨励賞】

さん新たな発想や特色ある活動により、まちづくりや産業振興への貢献度が特に顕著であると認められる個人や団体を表彰します

【文化奨励賞】

科学、教育、文学、芸術、歴史などで著しい業績をあげ、文化振興に寄与された個人や団体を表彰します

自治振興功勞



おおざわ さだはる
大澤 貞春 さん
(中井・71歳)

平成十一年から同二十年まで、小浜市固定資産評価審査委員会委員を三期九年務めました。その間、五年にわたり委員長の重責を果たされ、小浜市税制のいっそうの適正化、公平性の確保に尽力されるなど、市の固定資産評価審査委員会の運営に大きく貢献されました。

自治振興功勞



きむら みつお
木村 光雄 さん
(加斗・77歳)

平成二年から小浜市加斗財産区管理委員会委員を務められました。同十四年からは同委員会長の要職を務められ、現在も加斗財産区の管理、運営に大きく貢献されています。

教育文化振興功勞



おがわ しんりゅう
小川 進勇 さん
(中井・82歳)

昭和二十四年に郷土史研究会に入会以来、五十九年間にわたり郷土史の研究に励んでおられます。その間、会長の要職を務められ、口名田村史の編さんや若狭の語り部の立ち上げに尽力されるなど、歴史の宝庫である小浜の民俗学研究の発展向上に大きく寄与されています。

教育文化振興功勞



みうら よしかず
三浦 義一 さん
(小浜白鬚・76歳)

昭和四十六年の小浜少年少女合唱団設立に尽力され、現在の合唱団の基礎を作られました。平成十三年からは団長として積極的に交流演奏会を開催されるなど、合唱団活動を通じて小浜のPRや団員のマナー向上、道徳教育に尽力されています。

教育文化振興功勞



うえさか まさお
上坂 正夫 さん
(湊・70歳)

昭和四十五年から平成十四年まで、小浜市文化財保護審議会の委員として特に市の天然記念物の保護と増殖に尽力されました。また、平成十年からは市立図書館主催「植物の名前を調べる会」の講師として、子どもたちの植物教育に尽力されています。

教育文化振興功勞



くらもち みち子 さん
倉持 みち子 さん
(堅海・60歳)

昭和五十二年に堅海婦人会に入会以来、三十年間にわたり女性の地位向上と婦人会活動の発展に尽力されています。平成十五年からは小浜市連合婦人会副会長の要職を務められ、「婦人のつどい」をはじめ多くの事業に取り組み、市民と行政との協働事業推進に大きく寄与されています。

産業振興功勞



おおた れいこ
大田 麗子 さん
(小浜香取・79歳)

昭和二十七年から料亭たる井の経営に携わるとともに、昭和三十四年の小浜料亭事業協同組合の立ち上げに尽力。その後組合長として、小浜の観光産業の発展に貢献されました。また、事務所を観光客向けの休憩所に改築し、芸子たちによるお茶の提供を行うなど、小浜の景観保全と伝承に大きく貢献されています。

文化奨励賞



しみず ひさこ
清水 久子 さん
(小浜酒井・74歳)

昭和四十四年に日本編物検定協会の審査員資格を取得し、平成八年と九年には検定協会福井県支部長の要職を務められました。小浜公民館や雲浜公民館、働く婦人の家で編み物講座を開き、編み物の魅力であり特性でもある「編み直しリフォーム」を指導。エコロジーの考え方を多くの人に伝えていきます。

文化奨励賞



さわだ たつお
澤田 辰雄 さん
(青井・82歳)

平成十一年から同十五年まで小浜市郷土史研究会会長の要職を務め、その間「教育百年史 明治、大正、昭和展」「教育資料展」「かくれたる故郷の写真展」などを開催されました。郷土史に対する熱心な研究と発表、郷土史の知識を生かして語り部として活躍されるなど、本市の文化財に対する市民意識向上に大きく寄与されました。

産業振興功労



みやがわ とよし
宮川 豊至 さん
(小松原・73歳)

平成十一年から同二十年まで、小浜市農業委員会委員を三期九年務められました。その間、優良農地の確保や農地の有効利用の促進など、地域農業の振興や活性化に向けて尽力されました。

産業振興功労



ないとう としかね
内藤 利金 さん
(多田・72歳)

昭和三十八年に小浜製綱株式会社に入社以来、船舶、水産用などの複合素材を使った高性能ロープの開発に尽力されました。本年からは、西日本の業界二十一社をまとめる西部繊維ロープ工業協同組合の理事長の要職を務められるなど、卓越した経営手腕でものづくり分野での小浜の活力向上に尽力されています。

文化奨励賞



おおはし みちこ
大橋 導子 さん
(仏谷・55歳)

小浜少年少女合唱団の指導をされています。奈良市、川越市、小樽市との姉妹都市交流を行うなど、合唱を通して青少年の育成と音楽文化の振興に大きく寄与されています。「日本の第九演奏会」に第一回から指導運営スタッフとして携わり、小中学生にオーケストラで歌う貴重な体験を積ませるなど、心の輪を広げる活動をされています。

文化奨励賞



まさみち ちずこ
政道 知津子 さん
(水取二丁目・70歳)

中央公民館や働く婦人の家での講座、若狭高校の茶道部などで茶道の指導をされています。平成十七年の第二十回国民文化祭「茶道フェスティバル」では、明通寺会場を担当して全国からの客人をもてなしました。また、福祉施設などを慰問して、お茶会を開催するなど、茶道を通じて社会貢献と伝統文化を伝える後進の育成に大きく寄与されています。

スポーツ振興功労



しんたに よしと
新谷 義人 さん
(宇久出身・26歳)

平成九年からウエイトリフティングに携わり、スポーツ振興に努力されています。同十三年の全日本ジュニア選手権六十九級級で優勝以来、アジア選手権で準優勝、北京オリンピックで十位など、世界レベルの選手としてスポーツ振興に貢献されています。

産業振興功労



やまぎし ひろゆき
山岸 博之 さん
(小浜白鳥・62歳)

平成元年に有有限会社ホテルアーバンポートを創業。以後二十年間にわたり、顧客ニーズにマッチしたサービスの向上に取り組みされました。今では、宿泊客などの受け入れに欠くことのできない施設にまで発展させ、観光交流人口の増加や観光産業の発展に大きく貢献されています。

文化奨励賞



どくしょかい
なぎさ読書会

昭和四十八年の設立以来、三十五年間にわたり毎月市立図書館で読書会を継続して開催し、読書活動の推進と読書人口の拡大に尽力されています。会員それぞれが、毎回読書感想を語り合うなどしてコミュニケーション意識を高揚するとともに、読書活動を幅広く推進するなど市民文化の振興に大きく寄与されています。

文化奨励賞



きんじょうりゅうたいしやうごときんれいかい
琴城流大正琴琴鈴会

昭和六十一年、琴城流大正琴小浜教室を開設して発足しました。生涯学習としての大正琴演奏を基本に、楽しく練習を積み重ねています。毎年多くの発表会に出演しながら演奏の腕を上げ、国レベルの催しに出演するまでになりました。文化祭や体験講座などに積極的に参加し、聴衆に音楽を聴く喜びを与えるなど、本市の器楽文化の普及振興に貢献されています。

文化奨励賞



たにぐち つる
谷口 ツル さん
(小浜今宮・83歳)

昭和三十八年に武田謡楽会に入門。同五十五年には観世流入門許可免状を受け、平成二年に重習免状を取得しました。平成十一年から同二十年まで小浜市謡曲連合会の副会長を務め、現在武田謡楽会代表の要職を務められています。熱心に謡曲に打ち込み、謡曲文化の普及振興に大きく寄与されています。

奨励賞



わかさ おばま
スローフード若狭おばま

平成十七年の設立以来、小浜の伝統的な食文化をスローフード運動として発信していくために活動されています。当団体の尽力により、「鯖のなれずし」や「谷田部ねぎ」が食の世界遺産ともいわれるスローフードインターナショナル「味の箱舟」に認定されました。さまざまなイベントなどにも参加し、小浜の食文化やスローフードの普及に努められています。